

シーバスジギングタックル



●専用ロッドがおすすめだが、全長1.8メートル前後、60~80グラムのジグを背負えるライトもしくはスーパーライトジギング、タチウオジギング用でもOK。フォールを繰り返す釣りなので、クラッチを切るだけでジグを落とせるベイトリールが便利。



▲▼ヨッシーの愛用ルアーは「シーバスアンチビメタル」「ラスパティーン」の60~80グラム



★アタリがきたら竿を立ててフッキングし、テンションを緩めずに巻き上げる



◀当日は50~60センチ前後のシーバスが多かった



▲ダブルヒットもよくあった

ヨッシーこと吉岡進がエサ、ルアー釣りを問わず、様々な釣り物にガチでチャレンジしていく当連載。第10回はヨッシーが得意とする東京湾のシーバスジギング。2月下旬、エサ釣りのほか各種ルアー釣りも受け付けている東京湾奥千葉市寒川港の守山丸より出船した。金子輝人船長が向かったのは東京湾アクアラインの風の塔周辺、水深25メートル前後。当日は北風が強く、風裏のポイントを狙うとのこと。

船下にジグを投入するヨッシーだが数投して反応がないため、アンダーハンドキャストでストラクチャーの際狙いに切り替えると、すんなり1本目をキャッチする。

★アンダーハンドキャストでジグをストラクチャーの際に投入



◀取り込みは小型はリーダーをつかんで抜き上げる。良型はタモ取りしてもらおう



◀フックはタンデム。安全面や、リリースするときに魚体をなるべく傷つけないためにカエンを潰してパープレスしておく

#吉岡進の新世代沖釣り紀行 vol.10

ツリガチ! TSURI GACHI

東京湾のシーバスジギング

撮影/文◎本誌編集部

ベストもか

★緩急を付けた巻き上げて食べた会心の1本



Profile ◆よしおか すずむ 1982年生まれ。ヨッシーの愛称で親しまれている。一つテンヤマダイ、ライト系オフショアルアーを得意とする。ジャッカルソルトプロスタップ、シーガーインストラクター。

◆本編(62ページより)は高橋剛が執筆。沖釣りの楽しさをヨッシーとともに伝えたいです!



船中一本目!

スピニングタックルでも遊べる E GAME

●浅場のポイントではスピニングタックルにスピニテールジグやバイブレーション、ジグヘッドリグなどのルアーをセットしてキャスティングで楽しむこともできる。キャスティング用のルアーはジグに比べて軽く、ジギングの方とオマツリすることもあるので船長に確認してから使おう。



▲▼軟らかいスーパーライトジギングロッドでのヤリトリはスリル満点



▲28グラムの「ビッグバッカー ワグシャッド」をキャスト、底まで沈めてから5メートル巻いたところで食ってきた



◀▲東京湾のシーバスジギングはシーバスなどの建造物周り(ストラクチャー)や沖の根周りなど、様々なポイントを狙う

戦略を立てて釣るのが楽しいよね



★巻き上げからのフォールでバイトしてきた

シーバスジギングの釣り方

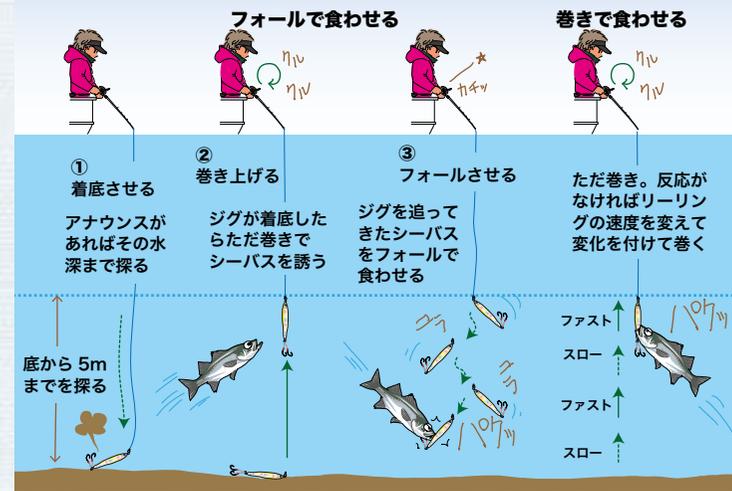
●海底までジグを落として5メートル巻き上げて、また落とす。この繰り返しでOK。底付近で群れているシーバスに対して巻き上げでジグを追わせ、ジグがヒラッと落ちたときに食わせる。巻き上げでも食ってくるので巻く速度を早くしたり、遅くしたりしてシーバスが反応するスピードを探る。



◀フォール時は親指で軽くスプールの押さえるとアタリが取りやすい



◀▼シーバスが吐き出したカタクチイワシ。捕食しているベイトにルアーのサイズを合わせると効果的



シーバスを飽きさせないのがコツだったかな

★東扇島沖の京浜シーバスもシーバスジギングの好ポイント

口を使わなくなったシーバスに対し、誘い方を変えながら挑んだヨッシー。詳しくは62ページから始まる本編にて！

続いて向かったのは、京浜シーバス周辺の水深30メートル前後。到着するとすでにルアー船がいて、シーバスが取り込まれているのが見えた。

ここでシーバスの捕食スイッチが入り、ダブル、トリプルヒットと盛り上がる。ところがバラしてしまつと警戒心が高まるのか、急にアタリが遠のいてしまった。



▶40センチ級も交じった

#船宿インフォメーション

東京湾奥 千葉市寒川港 **守山丸**
☎043-312-2640
(詳細は巻末の情報欄参照)



- ▲各所にロッドホルダーを備えている
- ▶ルアーシーバスは片舷10名限定
- 料金=ルアーシーバス予約乗合一人9500円(氷付き)
- 備考=6時出船。ルアータチウオ、ライトアジ、夜メバル&カサゴへも出船
- ◀太っ腹の金子 輝人船長(左)

